

令和5年度

企業連携

出前授業

(報告)

会社



鳥取県発明協会では、様々な事業を通して子供たちの創意工夫する能力や豊かな想像力を養い、育てる取組みを行っています。その取組みの一つとして、鳥取県内の企業の方が講師として小中学校へ出向き、自社が持っている素晴らしい製品や技術を分かりやすく紹介しながら、創意工夫することが社会で役立っていることを知ってもらう「企業連携出前授業」を行っています。この「企業連携出前授業」では、県内企業の製品及び技術にまじかに触れることが出来るため、授業に参加した子供たちからは「すごい」「おもしろい」など、大変うれしい声が沢山届いています。

今年度は企業16社にご協力を頂き、6月から12月にかけて県内小中学校20校に出向き、約900名の児童生徒を対象に出前授業を開催しました。授業は、ものづくり体験をはじめ、ITやSDGsに関する環境・エコ、福祉をテーマにしたものなど、幅広い分野に及びました。



【目次】

頁	学校名	学年	企業名	テーマ	実施日
1	南部町立法勝寺中学校	3年生	(株)エナテクス	SDGsと地域社会	6月23日(金)
2	鳥取市立鹿野学園 流沙川学舎	4年生	(株)サカモト	木でストローを作る	6月26日(月)
3	米子市立和田小学校	5年生	(公社)氷温協会	食品鮮度を保つ氷温技術	6月27日(火)
4	米子市立尚徳小学校	4年生	三光(株)	ゴミの行方とリサイクル	6月30日(金)
5	伯耆町立溝口小学校	4年生	(株)大協組	灰を固めるリサイクル技術	7月7日(金)
6	鳥取市立宝木小学校	4年生	(株)ニシウラ	介護用品の特徴と構造を知ろう	7月11日(火)
7	鳥取市立津ノ井小学校	6年生	(株)LIMNO	タブレット端末の耐久性向上技術	7月12日(水)
8	鳥取市立浜村小学校	4年生	三光(株)	ゴミの行方とリサイクル	7月19日(水)
9	鳥取市立美保小学校	6年生	気高電機(株)	おいしいご飯が炊ける炊飯器	8月28日(月)
10	鳥取市立醇風小学校	6年生	アイコンヤマト(株)	測量学習とドローン体験	9月8日(金)
11	米子市立福生東小学校	4年生	甲陽ケミカル(株)	健康で快適な生活をサポートする素材(キッチン・キトサン)	9月14日(木)
12	米子市立箕蚊屋小学校	5年生	藤森産業機械(株)	生ゴミ処理機	9月19日(火)
13	鳥取市立美保南小学校	6年生	アイコンヤマト(株)	測量学習とドローン体験	9月22日(金)
14	琴浦町立浦安小学校	5年生	(株)サカモト	木でストローを作る	9月28日(木)
15	鳥取市立河原第一小学校	5年生	モルタルマジック(株)	砂ねんど工作	10月4日(水)
16	湯梨浜学園中学校	1年生	(株)大協組	灰を固めるリサイクル技術	11月6日(月)
17	倉吉市立西郷小学校	6年生	(株)バードワークス	ロボットを使ったプログラミング	11月9日(木)
18	倉吉市立東中学校	2年生	(株)ジーアイシー	見守りシステム「ミッテル」って知ってる？	11月14日(火)
19	鳥取市立千代南中学校	1年生	(有)米村木工	最新技術で作るけん玉	11月28日(火)
20	南部町立会見小学校	5年生	(株)エッグ	AIによる顔認証	12月8日(金)
21	協力企業一覧、アンケート結果				
22	学校アンケート結果				

企業連携出前授業 第4回

- ◆ 日 時 令和5年6月30日（金）9：15-10：15 1コマ
- ◆ 企 業 三光(株)
- ◆ 講 師 山本 歩美 様・田川 由華 様
- ◆ 学 校 米子市立尚徳小学校
- ◆ 対 象 4年生 1クラス 24名
- ◆ テーマ ゴミの行方とリサイクル



三光(株)
山本さん

田川さん

授業では、まず、私たちが出したゴミの行方と日本のゴミの現状についてスライドを使って説明を受け、食品ロスの問題も含め私たちに何ができるのかを考えました。ここでは、ゴミ対策として4Rの考え方や分別の重要性についても学習しました。次に、2種類のプラスチック素材について、銅の棒を用いた炎色反応実験を観察しました。実験方法は、銅の棒先にプラスチック素材を付着させた後、炎の中で加熱し、炎の色の変化を観察します。緑色の炎が発生したプラスチック素材には塩素が含まれており、リサイクルに適さないと説明を受けました。さらに、授業後半では、グループごとにゴミの分別と行方をカード合わせて競うカードゲームをしました。先生方も参加されてのカードゲームは、講師の方の愉快な会話術で理解が深まり、ゴミのリサイクルについて楽しく学習することが出来ました。終わりに、発明協会から「発明楽」について紙芝居を使って説明をさせていただきました。



児童・生徒の感想

- ・ゴミは1日に100万トンも出されていて多いと思いました。
- ・カードゲームで、ガソリンは少しずつ焼却していることがわかりました。
- ・カードゲームや三光さんのお話で疑問がスルスルほどけていきました。
- ・4つのRを初めて知りました。リサイクル以外は知らなかったけど、リデュース、リフューズ、リユースを忘れない様にしていきたいです。
- ・実験が楽しかったです。



先生の感想

- ・三光(株)のお二人の授業の構成も進め方も素晴らしく、あっという間でした。映像、実物、クイズ、ゲームと多様な工夫がされる中、大切な用語もきちんと学べました。
- ・出前授業で企業に学校へ出向いていただけることが、とても有難いです。

企業連携出前授業 第5回

- ◆ 日 時 令和5年7月7日（金）10:20-11:05 1コマ
- ◆ 企 業 (株)大協組
- ◆ 講 師 西本 正敏 様・勝水 誠 様・西山 恵里香 様
- ◆ 学 校 伯耆町立溝口小学校
- ◆ 対 象 4年生 1クラス 16名
- ◆ テーマ 灰を固めるリサイクル技術



(株)大協組
西山さん

西本さん

勝水さん

授業では、まず大協組さんの紹介からはじまり、自社開発されている「エコソイルR」について説明を受けました。「エコソイルR」は優れた吸水性があることから軟弱地盤へ投入し地面を固める資材として利用されており、投入前と投入後の比較動画を見た時には「凄い！」と歓声が上がっていました。次に「エコソイルR」を実際に作ってみました。1人1セットずつ手作りキットを準備していただき、講師の説明を聞きながら水を混ぜたり手で捏ねたり、カップに移し替えたりして慎重に作業を進め、全員が楽しみながら作ることが出来ました。カップに移し替えた「エコソイルR」は徐々に熱を持って膨らんでくると説明を受けていたので、その変化を見ようと注意深く観察していました。次に、「エコソイルR」は植物の生育に必要な栄養素であるリンを吸着する性能があると説明を受け、その様子をリンの吸着実験を通して確認することができました。最後に発明協会から紙芝居を使って「発明楽」について説明をさせていただきました。



児童・生徒の感想

- ・今日は楽しくてあっという間に終わってしまいました。
- ・「エコソイルR」について教えて下さって有難うございました。作る事もできて良かったです。
- ・大協組さんの話を聞いて「エコソイルR」がとても硬くなるのがわかりました。将来はここにしようかな・・・と思っています。
- ・リンが入っている水が青色になるのがわかりました。
- ・「発明楽」をしてみたいなと思いました。家で発明をしてみたいです。



先生の感想

- ・スライドや実験を交えて、楽しく教えて頂き有難うございました。
- ・変化がわかりやすい動画や実験だったので子供達も内容がよくわかったと思います。
- ・活動の中でも、子供達にたくさんあたたかい言葉がけや支援をしていただき感謝しています。
- ・本校の校区内でも仕事をされている企業だったので、特に身近に感じることができたと思います。
- ・準備、片付け等も全てして頂けて本当に有難かったです。

企業連携出前授業 第6回

- ◆ 日 時 令和5年7月11日 (火) 10:30-11:30 1コマ
- ◆ 企 業 (株)ニシウラ
- ◆ 講 師 倉信 直也 様・中原 真理 様
- ◆ 学 校 鳥取市立宝木小学校
- ◆ 対 象 4年生 1クラス 15名
- ◆ テーマ 介護用品の特徴と構造を知ろう



(株)ニシウラ
倉信さん

中原さん

最初に、紙おむつについての学習です。紙おむつには沢山の種類があり、吸収機能と通気性がとても大切であると聞きました。紙おむつの材料となっている吸水ポリマーを透明なコップに入れ、そこに青い色をした疑似尿を入れてみました。すると、すぐにポリマーが疑似尿を吸収して青くて柔らかい塊ができました。これが、紙おむつの中で尿をした時と同じ状態であると説明を受けとても驚いた様子でした。次は、介護食についての学習です。今は介護食のレトルト食品が沢山あるそうで、その中から鶏ごぼうのおじやなどを実際に観察し、柔らかさや匂いなどを確認することができました。次は歩行器と車椅子の学習です。何故この構造になっているのか、それぞれの特徴の説明を受けたあと、実際に体験してみました。体験することによって、介護をする人、される人の立場にたつて、誰もが使いやすいように沢山の工夫がされていることを理解することができました。最後に発明協会から紙芝居を使って「発明楽」について説明をさせていただきました。



児童・生徒の感想

- ・将来、介護の仕事をしてみたいと思っていたので、知らないことを知れてとても嬉しかったし楽しかったです。
- ・車いすがこんなにも種類があつてびっくりしました。
- ・車いすにブレーキがある事がわかつてびっくりしました。
- ・おじいさんやおばあさんは、いつもこんなに大変な事がいっぱいある事がわかりました。
- ・もっと発明楽の事を考えたいです。



先生の感想

- ・沢山の準備等有難うございました。
- ・話をずっと座って聞くだけでなく、ポリマーの実験を通して技術の凄さを児童も感じ取っていたことと思います。
- ・上学年となると将来についても考えるようになり、企業体験も行いながら福祉って何だろう？バリアフリーって何だろう？と考える大切な時間を過ごすことができました。有難うございました。

企業連携出前授業 第8回

- ◆ 日 時 令和5年7月19日(水) 11:05-12:30 2コマ
- ◆ 企 業 三光(株)
- ◆ 講 師 伊達 俊子 様・田川 由華 様
- ◆ 学 校 鳥取市立浜村小学校
- ◆ 対 象 4年生 2クラス 44名
- ◆ テーマ ゴミの行方とリサイクル



三光(株)
伊達さん

田川さん

「日本のゴミの現状を知る」「小学生の私達に出来ることは何か」の二つの目当てを掲げて授業がスタートしました。1日に発生するゴミの量はどのくらい? というクイズでは、1日に100万トンであり豪華客船約9台分と聞き、その多さにとても驚いた様子でした。リサイクル、リデュース、リユース、リフューズの4つのRについても説明を聞いたり、リサイクルされた木のチップとRPF(お菓子の袋等を細かくして熱で固めた物)を実際に触れたり匂ったりして実物を確かめる事が出来ました。次にリサイクル出来るものと出来ない物を調べる方法として炎色反応実験をしていただきました。銅の棒先に2種類のプラスチック素材を溶かし付けてから加熱し、炎の色を観察します。炎の色が緑に変化した方は、素材に塩素が含まれておりリサイクルできないと説明を受けました。リサイクルするためにはゴミを分別することがとても重要であり、エコ消費(人や環境に対して配慮された商品を買う事)など食品ロスを減らす事も大切であると学習しました。



児童・生徒の感想

- ・ 出前授業でゴミの事を知ったので、分別をちゃんとしたいと思いました。
- ・ リサイクル出来る物と出来ないものがある事が分かりました。
- ・ 1日にゴミが100万tも出ることがわかりびっくりしました。
- ・ 4つのRをすることでSDGsなどができるので良いと思いました。
- ・ 小学生でも発明ができたりするんだなと思いました。
- ・ 将来発明をしてみたいです。



先生の感想

- ・ 社会科で学習をしてもあまり分かっていなかった部分を、お話を聞かせていただくことで理解が得られました。又、具体物があったり実験を見せて下さったりして楽しく前のめりに学習に取り組んでいました。
- ・ 児童が興味をもって学習できるような工夫が沢山あって、私自身も楽しく学ぶことができました。
- ・ 実際に足を運ぶことも大事ですが、学校に来ていただくことで子供達の移動の負担が少なくとても良いと思いました。出前授業は様々な分野から選べるので、色々な学年に対応していると思いました。

企業連携出前授業 第12回

- ◆ 日 時 令和5年9月19日（火）9：35～11：25 2コマ
- ◆ 企 業 藤森産業機械(株)
- ◆ 講 師 藤森 久雄 様
- ◆ 学 校 米子市立箕蚊屋小学校
- ◆ 対 象 5年生 2クラス 40名
- ◆ テーマ 生ゴミ処理機



藤森産業機械(株) 藤森社長

日本で出る生ごみの量は、年間1,900万トン（東京ドーム15杯分以上）で、その焼却費用が1兆円以上もかかっており、1兆円を1万円札で並べたり積み上げたらなどの例を出して説明をされました。ごみを減らして生かす3Rに、さまざまな取組があるなかで、微生物発酵・分解・液化し肥料（液肥）としてリサイクル可能な「生ゴミ処理機」を提案しているとの話に、児童は大変興味を示し、一生懸命メモをとっていました。また、近くの八百屋さんやスーパーで出る野菜や果物の生ごみがどんなものか実物を見てもらい、捨てるのは勿体ないと理解を共有しました。さらに、この実物の生ごみは、藤森さんが会社で20年来飼育している陸がめのカルビ君（1日にキャベツ5個程度を平らげるベジタリアンとのこと）の餌（無料）となっていると説明され、身近な実践例として興味を引きました。最後の質問コーナーではコンビニ等でも見受けられる「食品ロス」など、多くの児童から環境リサイクルに関する質問や感想が寄せられました。



児童・生徒の感想

- ・1年間に1兆円くらいのお金がゴミの処理に使われていると分かったので、処理されない為にちゃんと食べ物を大切にしたいです。
- ・私は、自分で出来ることを進んでやりたいと思いました。SDGsの12の「食品ロスをなくそう」を亀のカルビちゃんがしていると知ってすごいと思いました。
- ・カルビちゃんが出したフンなどでトマトが育つというエコの取り組みが素晴らしいと思いました。
- ・ゴミを無くす方法やカルビちゃんにもできるとわかって、私も頑張りたいと思いました。
- ・発明薬は、物と物を+-x÷という考えで新たな発見ができ、将来の役に立ちそうだと思います。



先生の感想

- ・子供たちはとても興味深くお話を聞いていたようでした。
- ・写真や実物などでわかりやすく、藤森様の思いが伝わったように思いました。
- ・子供たちが身近に感じ、環境を守るためにはどうすれば良いのかを考える事が出来る授業で有難かったです。
- ・環境保全やSDGsについて調べ学習を行っていますが、自分事として捉えきれてない子供もいるので、食品ロスや生ゴミの問題など例を挙げていただき、とても分かりやすい授業でした。

企業連携出前授業 第14回

- ◆ 日 時 令和5年9月28日 (木) 13:55-15:30 1コマ
- ◆ 企 業 (株)サカモト
- ◆ 講 師 坂本 晴信 様・福安 祥二 様・上田 祥文 様
- ◆ 学 校 琴浦町立浦安小学校
- ◆ 対 象 5年生 1クラス 40名
- ◆ テーマ 木でストローを作る



(株)サカモト
坂本社長

福安さん

上田さん

授業では、まず発明協会から「発明楽」について紙芝居を使って説明をさせていただきその後、坂本社長さんから、木材でも「発明楽」同様に四則演算を利用した成果として「燃えない木」「沈む木」「腐らない木」など常識を覆す商品ができていると説明を受け、見本を見せていただきました。その後、全員で木のストロー作りを体験しました。0.15mmと薄く加工された木のシートを水に濡らした後、飲んでも大丈夫な糊を薄く塗り芯棒に巻き付けていきます。1本目はシートが破れたり上手に巻けなかったりと悪戦苦闘していましたが、2本目からは友達と協力しながら上手に作っていました。次に、坂本社長さんが有名なユーチューバーと一緒にサウナ作りをした映像を見せていただき、鳥取の田舎でもキラリと光る技術があれば、都会でこんな仕事もできると紹介がありました。最後に児童の皆さんが「木からストローができるなんて驚いたけど、とても楽しく作ることができました」と感想を述べてくださいました。



児童・生徒の感想

- ・ゴミを少しでも減らしたいと思いました。木にはいろんな良さがあると知れて良かったです。
- ・環境を大切にしていきたいと思いました。
- ・最初のストローは破けてしまったけど、2本目からは成功して良かったです。とても楽しかったです。
- ・木でストローが作れると知ってびっくりしました。家で使いたいと思います。
- ・燃えない木を見た時には驚きました。
- ・発明に興味はなかったけど、沢山良いお話を聞かせてもらい詳しく教えてもらえたので良かったです。
- ・発明は楽しいとわかったし、みんなのためになると知って発明はすごいことだと思いました。



先生の感想

- ・子供たちが、環境や人のためになることを色々思い付こうというきっかけになったと思います。
- ・最近、人を傷つけるために知恵を使ってしまう人がいるが、その逆のことに知恵を使える子供たちになって欲しいと思いました。

企業連携出前授業 第15回

- ◆ 日 時 令和5年10月4日（水）13：15-14：50 1コマ
- ◆ 企 業 モルタルマジック(株)
- ◆ 講 師 河内 春菜 様
- ◆ 学 校 鳥取市立河原第一小学校
- ◆ 対 象 5年生 1クラス 31名
- ◆ テーマ 砂ねんど工作



モルタルマジック(株)
河内さん

初めに、沖縄に流れ着いた軽石を使ってシーサー作りをされている話や、モルタルマジックさんが発明された「砂ねんど」で作られたお土産品「モアイ像」について説明をうけました。説明の後は、1人ずつ「砂ねんどキット」を受け取り作品作りに挑戦しました。鳥取砂丘の砂に特殊な接着剤を混ぜて作られているサラサラした砂に、少量の水を混ぜてこねていきます。力いっぱいこねると、サラサラの砂が徐々に固まって粘土状になり「砂ねんど」ができます。その砂ねんどを、モアイ像やクッキー型などを使って成形しトースターで加熱して完成させました。児童の皆さんは、とても丁寧に集中してオリジナルの作品作りに取り組んでいました。作品が焼きあがるまでの間、発明協会から「発明楽」について紙芝居を使って説明させていただき、砂ねんどは「発明楽」のどれにあてはまるか質問したところ、見事に「砂+特殊な接着剤です！」と正解していただきました。砂ねんど工作を通じて、ものづくりの楽しさを感じることが出来ました。



児童・生徒の感想

- ・砂なのに粘土になって初めての感触を味わえて楽しかったです。
- ・将来「これは絶対役に立つ」と思いました。
- ・砂と水を使って粘土にするのは家族もわからなかったので、将来モルタルさんに入社したいです。
- ・モルタルさんの話はとても分かりやすかったです。
- ・砂粘土を使って色々な物を作るのがとても楽しかったです。
- ・最初の粘土を作るところはちょっと難しかったけど、形を作る時はとても楽しかったです。
- ・発明楽のことがよくわかりました。来年まで覚えていて発コン] r. に応募したいです。



先生の感想

- ・鳥取砂丘の砂を生かした仕事の紹介を入れてくださった事で、鳥取で働く夢や希望を持つことが出来るキャリア教育にも繋がったと思います。
- ・大変貴重な体験ができました。

企業連携出前授業 第19回

- ◆ 日 時 令和5年11月28日 (火) 13:25-15:15 1コマ
- ◆ 企 業 (有)米村木工
- ◆ 講 師 柏 健 様・平尾 裕太 様
- ◆ 学 校 鳥取市立千代南中学校
- ◆ 対 象 1年生 1クラス 25名
- ◆ テーマ 最新技術で作るけん玉



(有)米村木工
平尾さん

柏さん

授業では、グランドゴルフのクラブをメインに生産しておられる中、何故けん玉の製造を始められたのか、その背景や製造方法を説明していただきました。レーザー加工技術や微細色付技術を使った美しいけん玉は、ニューヨークで展示会を開催され、世界に向けて日本の伝統工芸品としてPRされたと聞きました。生徒の皆さんは美しいけん玉の現物を間近で見て、微細加工の素晴らしさにとっても感激されていました。次に、生徒一人一人に無地のけん玉を配っていただき、球体と本体を糸で繋げる作業をした後、球体にそれぞれが好きなデザインを描き色付けをしていきました。あらかじめデザインを考えていた生徒も、「実際に球体に手書きをするのはとても難しい」と言いながらも慎重に丁寧に作業を進め、世界に一つしかないオリジナルのけん玉を作り上げていました。作業が終わった生徒は、そのオリジナルのけん玉を使って実技体験をしたり、5連や10連の珍しいけん玉へのチャレンジをしたりと、とても有意義な授業となりました。



児童・生徒の感想

- ・ 普段はできない絵付けができたので楽しかったです。米村木工さんのお話を聞いて、新たな方向性を発明していくことが大事だとわかりました。
- ・ 米村木工さんの事業の発展の歴史や、発明楽の話を知っていてとても楽しかった。日本の伝統であるけん玉がとても綺麗で細かくてびっくりしたし、欲しくなりました。他の人にもけん玉の楽しさを伝えていきたいと思いました。
- ・ 色々なけん玉を用意していただき、沢山の種類を体験できて面白かったです。
- ・ 発明楽について紙芝居を聞いて少し興味を持ちました。自分でも何か発明してみたいです。



先生の感想

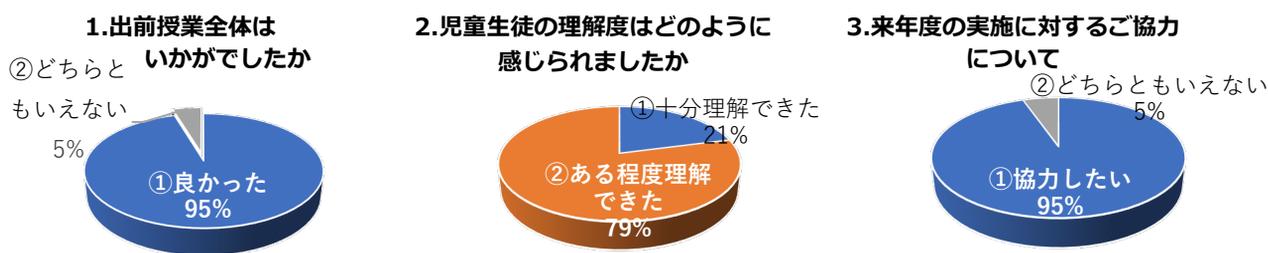
- ・ 生徒が興味をもって取り組む姿であった。
- ・ 活動が多くて子供たちもとても楽しそうでした。
- ・ 鳥取から世界に向けて発信しておられる点、試行錯誤を重ねておられる点が素晴らしいと思いました。
- ・ いろいろご苦労されたお話をもう少し聞きたかったです。
- ・ 生徒はどうしても制作の楽しさのみを印象として残すと思うのですが、就職、労働に結びつく内容として記憶に残ればよいと思いました。

◆協力企業一覧

企業名		住所	電話番号
アイコンヤマト株式会社	680-8064	鳥取市国府町分上3-313	0857-24-3755
株式会社エッグ	683-0805	米子市西福原4-11-31	0859-36-8881
株式会社エナテクス	682-0017	倉吉市清谷町2-73	0858-28-1111
気高電機株式会社	689-0216	鳥取市気高町宝木1561-8	0857-82-0911
甲陽ケミカル株式会社	684-0046	境港市竹内団地217	0859-45-3086
株式会社サカモト	689-1431	八頭郡智頭町大字山根520-1	0858-75-0758
三光株式会社	684-0034	境港市昭和町5-17	0859-44-5367
株式会社ジーアイシー	682-0802	倉吉市東巖城町125	0858-23-3553
株式会社大協組	689-3543	米子市蚊屋235-2	0859-27-0611
株式会社ニシウラ	680-1243	鳥取市河原町佐貫1093-8	0858-85-0601
株式会社バードワークス	680-0941	鳥取市湖山町北2-522-2	0857-30-4791
公益社団法人氷温協会	683-0101	米子市大篠津町3795-12	0859-28-5000
藤森産業機械株式会社	683-0011	米子市福市859	0859-26-1132
モルタルマジック株式会社	689-0332	鳥取市気高町勝見1 8 4-2	0857-82-6660
有限会社米村木工	689-0534	鳥取市青谷町吉川102	0857-85-0805
株式会社LIMNO	680-8634	鳥取市立川町7-101	0857-21-2001

(五十音順)

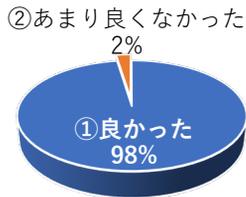
◆企業アンケート結果



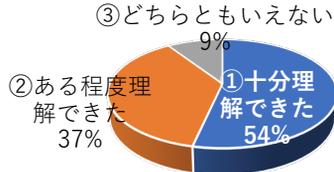
- ・地元企業について知っていただける機会であり、又ものづくりを通して色々な職業や仕事へのやりがい等を感じてもらえるきっかけが出来たかなと思います。
- ・授業に持ち込んだ機材を楽しんでいただけて、制作した苦労が報われる思いがしました。このような経験は、今後の改善、改良のモチベーションになります。弊社の仕事はエンドユーザー様に直接つながる機会が少ないので、他の社員にも講師を経験して欲しいという思いがあります。
- ・頭で考えたこと（ゴール）と実現することの難しさ（現時点）にはギャップがあることを体験できた事は良い学びだと思います。
- ・何かを実現するには、自分が思っている以上に考えないと実現しないということに気付くと、考える力がぐんぐん伸びると思います。
- ・物事をわかりやすく簡単に伝えることが大切で、難しさを改めて感じました。
- ・仕事を振り返るきっかけだったり、アウトプットする大切さに気付かされた良い機会となりました。
- ・空調がない教室での出前授業は、猛暑期をできる限り避けていただくなど開催時期をご一考いただきたく存じます。
- ・「もっとこんな授業がよい」という意見があれば聞かせていただけると有難いです。
- ・児童生徒の皆さんの授業に対する姿勢が前向きで大変素晴らしいと思いました。次回はもう少し踏み込んだ内容が出来ればと思います。
- ・子供たちの顔認証できた時の嬉しそうな様子と、慣れた様子でPCを操作するところが時代を感じました。
- ・「発明楽」の紙芝居がとてもわくわくする内容で、子供たちはとても楽しそうに聞いていました。

◆学校アンケート結果（先生）

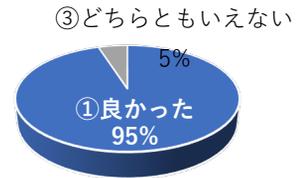
1. 出前授業全体はいかがでしたか



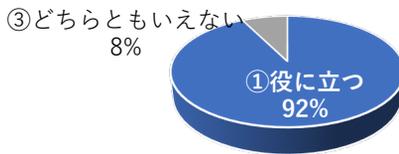
2. 授業の理解度はどのように感じられましたか



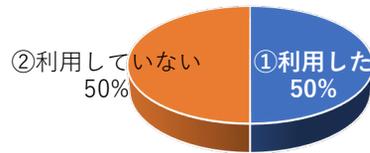
3. 県内企業の製品や技術に関する授業はいかがでしたか



4. 出前授業は児童生徒にとって将来役に立つと思いますか

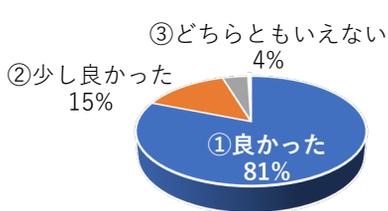


5. これまで発明協会以外の出前授業を利用されたことがありますか

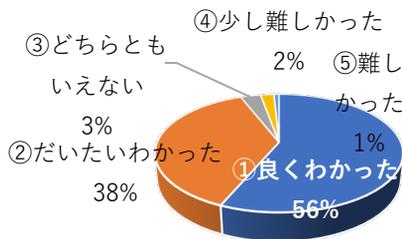


◆学校アンケート結果（児童、生徒）

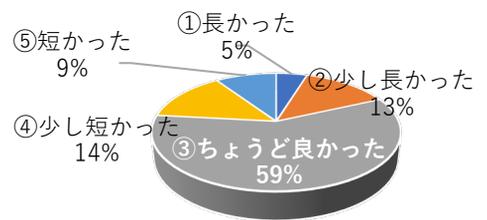
1. 授業全体はどうでしたか



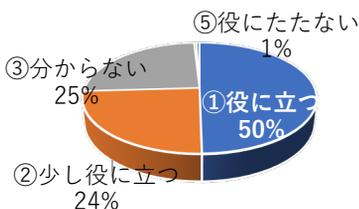
2. 授業の内容はどうでしたか



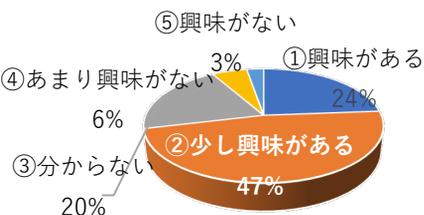
3. 授業の時間はどうでしたか



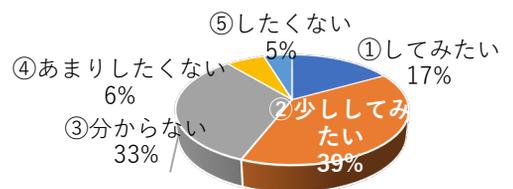
4. 将来役に立つと思いますか

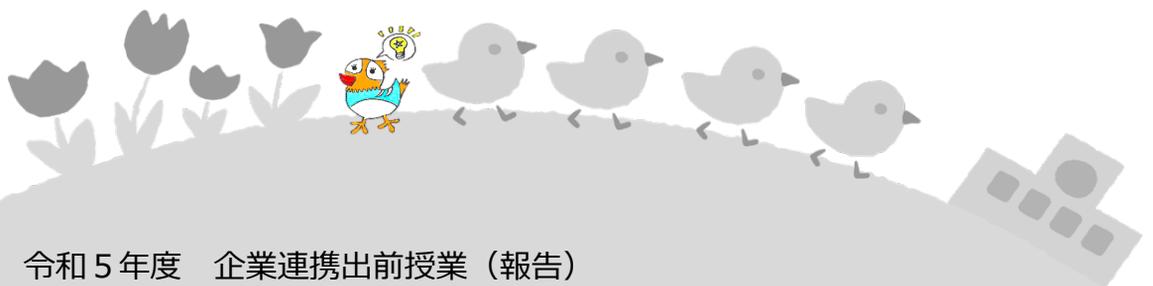


5. 「発明案」についてどう思いましたか



6. 将来発明をしてみたいと思いますか





令和5年度 企業連携出前授業（報告）

【お問い合わせ先】

一般社団法人鳥取県発明協会

〒689-1112 鳥取市若葉台南7丁目5番1号 鳥取県産業振興機構内

TEL : 0857-52-6728

FAX : 0857-52-6674

E-mail : hatsu@toriton.or.jp